別紙

I. 事業評価総括表(令和4年度)

(単位:円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	八幡平市スクールバス整備事業	八幡平市	10,901,060	4,419,000	

(備考) 事業が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表(令和4年度)

番号	措置名	交付金事業の名称					
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	八幡平市スクールバス整備事業					
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		八幡平市					
交付金事業実施場所		八幡平市田中下タ					
交付金事業の概要		八幡平市安代地区では、2つの小学校と1つの中学校の児童・生徒のうち、自宅からそれぞれの学校までの距離が遠く、徒歩での通学が困難な者（令和3年度現在86名）に対し、スクールバスによる通学を行っています。安代地区のスクールバスは6台で運用しているが、うち3台は購入から10年以上経過しており走行距離も20万kmを超えているため、計画的にスクールバスを更新する必要があります。					
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		八幡平市総合計画 目標 心身ともに健康で、活力に満ちたまちづくり 基本施策（5）地域に根ざした教育の充実 施策の方向性：スクールバスの運行や通学時の安全確保など、安心して学習出来る環境づくりに努めます。					
事業開始年度		令和4年度	事業終了（予定）年度		令和4年度		
事業期間の設定理由		—					
交付金事業の成果目標及び成果実績		成果目標	成果指標	単位	評価年度	令和4年度	
		遠距離通学児童生徒の負担軽減	負担が軽減された児童生徒の割合	成果実績	%	100	
				目標値	%	100	
				達成度	%	100	
		評価年度の設定理由					
		事業終了後速やかに評価を実施するため					
		交付金事業の定性的な成果及び評価等					
		スクールバスの計画的な更新により、スクールバスの運行が通常どおりを行うことが出来たため、安心安全な学習環境づくりの一環となりました。					
評価に係る第三者機関等の活用の有無							
無							

交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和4年度
	スクールバス購入	活動実績	台	1
		活動見込	台	1
		達成度	%	100
交付金事業の総事業費等	令和4年度			備考
総事業費	10,901,060			
交付金充当額	4,419,000			総事業費計
うち文部科学省分	0			10,901,060 円
うち経済産業省分	4,419,000			
交付金事業の契約の概要				
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
	物品購入	指名競争入札	株式会社 小山田商店	10,840,500
交付金事業の担当課室	八幡平市企画財政課			
交付金事業の評価課室	八幡平市教育総務課			